【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公表番号】特表2007-514209(P2007-514209A)
【公表日】平成19年5月31日(2007.5.31)
【年通号数】公開・登録公報2007-020
【出願番号】特願2006-527085(P2006-527085)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　15/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　 1/20　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 1/32　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　15/00　　１００Ａ
Ｇ０６Ｔ　 1/20　　Ｃ
Ｇ０６Ｆ　 1/00　　３３２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
受けたデータセットを分類する第１の回路であって、質や性能を実質的に犠牲にすることなく電力消費量を減ずるように前記データセットを処理するための処理モードを選択するよう動作可能である、前記第１の回路と、
前記第１の回路に結合されるとともに、前記第１の回路から受けたデータを処理するよう動作可能である第２の回路と
を備え、
前記処理モードが前記データセットの分類に基づいて選択され、
前記第１の回路により選択された前記処理モードに従って処理が実行される、データ処理パイプライン。
【請求項２】
前記第２の回路が、
第１の分類を有するデータを低精度処理モードで処理する第１のデータ処理回路と、
第２の分類を有するデータを高精度処理モードで処理する第２のデータ処理回路と、
を備える、請求項１に記載のデータ処理パイプライン。
【請求項３】
前記第２の回路が、
前記第１のデータ処理回路に結合されるとともに、前記第１のデータ処理回路から受けた、前記第１の分類を有する前記データを処理する第３のデータ処理回路と、
前記第２のデータ処理回路に結合されるとともに、前記第２のデータ処理回路から受けた、前記第２の分類を有する前記データを処理する第４のデータ処理回路と
を更に備える、請求項２に記載のデータ処理パイプライン。
【請求項４】
前記第２の回路が、前記第１のデータ処理回路および前記第２のデータ処理回路に結合される第３のデータ処理回路を更に備え、前記第３のデータ処理回路が、前記第１の分類

を有する前記データおよび前記第２の分類を有する前記データの少なくとも一方に関してデータ処理を行なうよう動作可能である、請求項２に記載のデータ処理パイプライン。

【請求項５】

前記第１の回路に結合されたユーザインタフェースを更に備え、

前記ユーザインタフェースが、構成可能な前記データ処理回路を前記低精度処理モードおよび前記高精度処理モードの少なくとも一方で動作するように構成するため、ユーザによる入力情報を前記第１の回路に対して通信する、請求項４に記載のデータ処理パイプライン。

【請求項６】

前記第１の回路に結合された電力モニタを更に備え、

前記電力モニタが、アクティブに実行中のアプリケーションの終了まで携帯デバイスの動作を持続させるために必要な電力レベルを決定して、適切な処理モードを選択するためのものであり、

前記電力モニタが、前記選択された処理モードで動作するように前記構成可能なデータ処理回路を構成するために、前記選択された処理モードを前記第１の回路に対して通信する、請求項４に記載のデータ処理パイプライン。

【請求項７】

前記第２の回路が、低精度処理モードおよび高精度処理モードの少なくとも一方でデータを処理するための構成可能なデータ処理回路を備え、前記構成可能なデータ処理回路が、第１の分類に基づいて前記低精度処理モードでデータを処理するように構成されるとともに、第２の分類に基づいて前記高精度処理モードでデータを処理するように構成される、請求項１に記載のデータ処理パイプライン。

【請求項８】

前記第２の回路が、前記構成可能なデータ処理回路に結合された第３のデータ処理回路を更に備え、前記第３のデータ処理回路が、前記第１の分類を有する前記データおよび前記第２の分類を有する前記データの少なくとも一方に関してデータ処理を行なうよう動作可能である、請求項７に記載のデータ処理パイプライン。

【請求項９】

前記第１の回路に結合されたユーザインタフェースを更に備え、

前記ユーザインタフェースが、前記構成可能なデータ処理回路を前記低精度処理モードおよび前記高精度処理モードの少なくとも一方で動作するように構成するため、ユーザによる入力情報を前記第１の回路に対して通信する、請求項７に記載のデータ処理パイプライン。

【請求項１０】

前記第１の回路に結合された電力モニタを更に備え、

前記電力モニタが、アクティブに実行中のアプリケーションの終了まで携帯デバイスの動作を持続させるために必要な電力レベルを決定して、適切な処理モードを選択するためのものであり、

前記電力モニタが、前記選択された処理モードで動作するように前記構成可能なデータ処理回路を構成するために、前記選択された処理モードを前記第１の回路に対して通信する、請求項７に記載のデータ処理パイプライン。